

社会福祉法人 芳梅会
創立30周年特別記念号





社会福祉法人 芳梅会

ご あ い さ つ



理事長 原 脊 健 治

ここに、めでたく社会福祉法人芳梅会が30周年を迎える事ができましたのは京都府・木津川市・精華町の行政機関や社会福祉協議会を始めとした地元団体の温かいご支援・ご協力、そしてボランティアの皆様や施設利用者の「家族の会」の心温まる影の奉仕、また役員や職員の弛まぬ努力の賜物と深く感謝申し上げる次第であります。

私たちの芳梅会は、(故) 医学博士・島田梅子先生が旧大阪高等医学専門学校(現関西医大)の同級生と晩年を共に生活する小規模ながらアットホームな理想的なホームづくりを計画されましたが、諸般の状況から現実不可能となり、その資金を老人福祉のために役立てたいとの思いから個人の意思を引き継ぎ、昭和61年11月21日に設立され、翌昭和62年5月15日この木津川市鹿背山区の地に「特別養護老人ホーム木津芳梅園」としてオープン、今日に至ったものであります。

本会は、本部と併設の特別養護老人ホーム・短期入所生活介護・通所介護・木津芳梅園診療所のある「木津芳梅園」。市の中心部には、木津川市から委託を頂いている木津川市地域包括センター木津東や訪問介護・居宅介護支援事業所のある「あすてる」。精華町には30周年に合わせオープンした訪問看護ステーションや通常型デイサービス、リハビリ特化型デイサービス、居宅介護支援事業所のある「ファイン桜が丘」の3拠点を運営しています。なかでも特養ホーム木津芳梅園には本年108歳を迎えられました市内最高齢の山口りよ様をはじめ、100歳以上の方が5名ご入所されており、高齢・長寿社会を支える当法人の基幹事業となっております。

設立趣旨に合わせ、高齢者を取り巻く生活環境をより良いものとし、家族的で施設利用者様に喜ばれる明るいケアを目指しております。また、地域に根差したきめ細かいサービスと、お一人お一人の高齢者を親身にケアさせて頂く真心をモットーに「安心と安全を心掛け、そして充実した楽しい満足感の日々を送って頂けるよう」職員と共に努力させて頂く所存であります。

最後になりましたが、重ねて関係各位にお礼を申し上げますと共に、今後とも「芳梅会」の尚一層のご支援・ご協力を賜りますことを切にお願いし、芳梅会設立30周年のご挨拶とさせていただきます。



30周年を迎えて

施設長 武田 暁



木津芳梅園が創立30周年を無事迎えることができましたのは、ひとえに関係各行政機関、地域の皆様のご懇切なるご指導、ご支援の賜であり、深く感謝申し上げる次第であります。

10数年前、事務方として入職したころ、職員の一人が『自分の父母、祖父母に利用してもらいたいと思えるようなホームにできれば、それが理想です。』と語ってくれたことがあり、今も強く胸に残っています。きっとそれは創立者をはじめ、創立期の諸先輩方が目指してきた当園の起点であり、当時から現在まで変わらずに希求し続けている目標ではないかと感じました。

また、当園設立6年後にはご入所の皆様のご家族有志の手により「家族の会」が結成され、家族交流会や年2回の清掃奉仕活動等、多年に亘り、当園の運営に常に寄り添ってくださっていることも心強い限りです。そして、夏の暑さ、冬の寒さにも負けず、ずっと変わらぬ姿勢で当園をご訪問くださり、ご入所の皆様に楽しみや喜びを与えてくださっているボランティアの皆様には感謝してもし尽せないと思えます。

これからの新たな30年は、かつて誰も経験したことのない長寿社会～人生100年時代～の到来であり、新たなチャレンジと修練の始まりであると思います。労働人口の減少による人材不足と社会保障費の増大抑制策による保険収入減少の懸念が重くのしかかってきます。しかし、現在ご入所されているほとんどの皆様が経験されてこられた想像を絶する困難と苦渋に満ちた時代と比べれば、叱咤激励されて然るべき試練ではないかと思えます。

子育てを終え、いわゆる現役を退いて、人生の終末を迎えるまでの間、どのように生きていくことがその人らしいのか・・・創立者、島田梅子先生(医学博士 1910～1986)の言葉の中に「お年寄りが寝たきりで余生を送るようなホームではなく、リハビリをして家に帰れるような施設を目指してほしい」とあります。その当時からリハビリによる自立支援を目指された先見性は、今まさに当法人が取り組もうとしている地域で長く健康的に暮らす支援に引き継がれていくのだと思います。

これからも保険数理に振り回されるのではなく、血の通った温かみのある保険制度になるように、また、社会福祉法人として地域に必要とされるように職員一同、精進してまいりたいと思います。今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



祝 辞

木津川市長 河井 規子



特別養護老人ホーム木津芳梅園が創立30周年を迎えられるにあたりまして、心よりお祝いとお喜びを申し上げます。

貴施設におきましては、昭和62年5月に創立され、以来、30年の長きにわたりまして、地域福祉並びに高齢者福祉サービスの向上に、積極的に取り組んでいただいております。また、働きやすい職場づくりに取り組まれ、平成24年3月に「京都府ワーク・ライフバランス認定企業」の承認を受けられるなど、多くの実績をあげておられます。

今後、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で自分らしく暮らせる社会をつくるために、これまで以上に、貴施設の長年培われた豊富な経験や実績を活かしていただき、今後とも、地域福祉の中核としてご尽力賜りますことをご期待申し上げます。

結びに、創立30周年の節目を契機といたしまして、特別養護老人ホーム木津芳梅園の今後ますますのご発展を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



家族の会より



お祝いの言葉

家族の会会長 川崎 勝

社会福祉法人芳梅会設立30周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

私たち家族の会は、職員の方々と協力しながら、年2回、施設内外の清掃活動と、春と秋の家族交流会を沢山のご家族の参加の元に行っています。また、敬老祝賀式におきましては、家族の会より毎年、記念品を贈らせて頂いています。今後更なる芳梅会の発展と、利用者様が明るく楽しい生活を送る事ができるように家族の会としてもサポートしていきたいと思ひます。



*** 家族の会清掃活動の様子 ***

*** 敬老祝賀式の様子 ***

芳梅会の年表

❖ 30年間のあゆみ

昭和61年 7月 1日 法人設立準備室開設
昭和61年12月11日 社会福祉法人芳梅会設立



昭和62年 5月15日 特別養護老人ホーム木津芳梅園開設
在宅老人短期保護事業開始（相楽郡7カ町村委託事業）
昭和62年10月 1日 木津町デイサービスセンター開設（木津町委託事業）
平成 4年 4月 1日 ホームヘルパー派遣事業開始（木津町委託事業）
平成 5年 7月 1日 木津町在宅介護支援センター開設（木津町委託事業）
平成 5年 7月18日 木津芳梅園家族の会結成
平成12年 4月 1日 介護保険法施行（法に基づく介護事業に転換）
居宅介護支援事業所開設
平成22年 6月～9月 施設大規模改修工事（2階に食堂を設置、静養室の増築など）
平成23年11月 1日 居宅介護支援・訪問介護事業所事務所を木津川市役所前に移転
平成25年10月～ 床走行リフト、スタンディングマシーン等の福祉機器導入
平成25年 8月～10月 特浴（リフト付き個浴、ユニットバス）改修工事及び導入



平成28年 4月～ 防犯カメラシステム導入
平成28年 4月 1日 木津川市地域包括支援センター木津東を開設（木津川市委託事業）
平成28年 5月 1日 ファイン桜が丘（在宅支援4事業所、地域交流ホール）を精華町に開設



✿制服の変遷（歴代のユニフォーム）



ポロシャツは白色に薄紫色が切り替えのようにポイントとして入っています。優しい色合いにもなっており、切り替えの色でお洒落なイメージもあります。ズボン紺色で下に行くにつれて裾幅が締まっており、動しやすい作りにもなっています。

白色と紺色のとてもシンプルな組み合わせです。また、白色のポロシャツの襟元には赤色のラインも入っておりワンポイントとなっています。白色と紺色の組み合わせが涼しげで清楚なイメージが持てるかと思います。しかし白色という事で汚れ等が目立ってしまうのが少し気になるかもしれません。



黄緑色と紺色の組み合わせです。一見シンプルなものですが、黄緑色のポロシャツがとても温かく柔らかなイメージを持たせてくれます。また男性、女性共に違和感なく着られるのではないかとと思います。生地はしっかりとした作りであるも速乾性もあり、機能面も充実しています。



現在着用中の制服です。上は紺色のポロシャツでワンポイントとして挿し色が入っています。挿し色の種類としては赤、青、オレンジ、ピンクとなっています。下はベージュ色のパンツで太腿に少し大きめのポケットが付いておりカーゴパンツのようなデザインとなっています。また上下共にポケットが充実しており機能性も高くなっています。更に今までの制服とは違い上下で普段着のようなデザインであり、外出先でも違和感なく着る事ができるのではないかとと思います。



こちらも現在着用中の制服です。こちらは相談員、介護支援専門員(ケアマネージャー)等の職員が着用しており、上記の制服と似ていますが素材やデザインが少し異なります。ポロシャツに関しては少し写真では分にくいですが、細かい白色の水玉模様が入っており、ズボンにはワンポイントとしてラインが入っている等お洒落な仕様となっています。

永年勤続職員コメント

看護師（統括マネージャー） 山本 まみ（勤続24年）

私が、芳梅園に入職したきっかけは、育児中で、外との繋がりがほとんど無い生活を1年ほど経験し、地域社会に取り残された思いがあり、働くことで社会貢献したい、自分自身も外との繋がりをもちたいという強い思いからです。私の職種は看護師で入職時は、在宅介護支援センターの専門職でした。当時は介護保険制度も無く、木津町の委託で寝たきりの高齢者台帳を基に、一軒一軒訪問し、家庭での介護の状況を伺い、町主体で行っている介護サービスや給付等の支援を説明、手続き代行する仕事でした。入職時は、25歳で社会経験も余り無く、病院で経験したこと以外は想像もつかない介護の世界が心に重く、介護する側、受ける側の立場をどのように支援し、自分なりに消化したらいいのか悩んだこともありました。その時、介護職の先輩達が優しくアドバイスしてくださり、『傾聴する事と利用者の立場に立って考える、家族の立場になって考える。両者の思いを受け止めることで、心の支えになっている』と教えていただいたことで、今日まで、芳梅園で働くことができたと思っています。また、3人の娘を育てるために、色々と仕事上迷惑を掛けたこともありましたが、『家庭優先で仕事したらいいから』『仕事の代わりはいてもお母さんの代わりはいないから』とやさしく言ってくださった言葉を今も忘れず、子育て支援を実践しています。

介護の分野では、サービスも多様化し、介護する側の考え方にも大きな変化がありました。全てを援助するのではなく、自立に向けた試みをおこない、自立に向けて支援する事が本来の支援であるという考えで取り組んでいくことが重要と考えます。今後は、社会福祉法人に勤めたことで、地域貢献できるサービスや地域の方々との繋がりをもち、住み慣れた地域で、いつまでも生活が送れるように、要支援、要介護にならないための支援を提供していきたいと思っています。

居宅介護支援事業所 管理者
辻 正子（勤続13年）

13年前、右も左も分からず、不安をいっぱい抱えて芳梅園に入職しました。地図を片手に持って、地域のお年寄りのお宅を訪問しようとしても、迷子になっては職場の先輩達に心配ばかり掛けていました。そんな私を職場の先輩達や地域の事業所の方、さらに在宅医の先生がいつも優しく、時には厳しく、ご指導して頂いたことが、今となっては大切な宝物となっています。大きな壁にぶち当たり、もがき、遠回りをし、思い悩む日々もありましたが、職場の先輩達の温かさと、利用者の方の優しい笑顔で、乗り越えていくことが出来ました。利用者の方から生きていく強さを学んだり、介護で悩んでいるご家族の思いに共に涙をしたり等、関わるその一瞬一瞬を大切にしていき、同じ価値観をもって、向き合い、そして寄り添い、共に歩むことの出来る伴走者のような存在となれるように誠心誠意、努力し続けていきたいと思っています。



包括支援センター木津東配属(介護支援専門員)

吉岡智美(勤続22年)

若いころ私は、右手が不自由な方がいるなら私はその右手になろうと考えていました。今は少し違っており、右手が動かなくても手伝う事より左手で自分でした方がずっといいのではないかと、それを支える為に自分に何が出来るか、残りの人生をいかに、なんでもない日常として送っていただくかということを感じるようになりました。私たちは利用者様の長い人生の最後の数ページで出会います。幸せな時も辛い時もあった人生でしょう。そして今もできていたことができなくなったり、色々なことを忘れてしまったり。縁あって出会った私たちが、どう寄り添うかが大事だと感じています。最後の数ページが穏やかであれば「私の人生、悪くなかった」と思ってもらえるはずと信じて、これからも私にできることを探していきたいと思っています。

入職して22年と数か月になりますが「この仕事が好き」という思いだけが私の原動力です。また周りの方々の支えがあり、子供ができて辞めることなくここまで来れました。

みなさんありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。



木津芳梅園デイサービス管理者(生活相談員)

田部豊一(勤続17年)

木津芳梅園に入職し18年目になります。長年、特養ホームで勤務していましたが、現在はデイサービスセンターの生活相談員をさせて頂いております。毎日多くの利用者様や家族様のお話に耳を傾ける中で、自身の老いの悩みや介護の悩みを抱えておられるにも関わらず、反対に私達職員に気遣いの言葉や、ねぎらいの言葉を頂く事が多くあります。そんな時にいつも感じる事は、私達は決して一方的に支援させて頂いているのではなく、「皆様との支え合い」の関係で成り立っているという事です。様々な選択肢がある中で、福祉の仕事に就き、皆様に支えられこの職業を今まで続けて来られた事で、人間として支え合う事の大切さを体得し、ようやくながら理解出来るようになってきたと思っています。この先50年、100年と芳梅園デイサービスが地域の皆様にとって人間味のある温かい居場所であり続けられるよう取り組んで参りたいと思っています。

今後とも宜しくお願い申し上げます。



ボランティア様よりメッセージ

●オッキーさんの紙芝居●

沖 勝彦 様

芳梅園に最初に訪れたのは2007年5月。2012年まで相棒のミッキーさんが歌唱指導やマジックで来ていましたが病気になり、それまで不定期に参加していた私が2ヶ月に1度、紙芝居の後を引き継ぎました。近年では、「介護紙芝居」という名であちこちの施設で演じられている分野ですが、利用者の間でもスタッフと共に活用されている様です。

今後とも頑張ります。声援願います。



●カラオケボランティア● 鈴木 多香子 様

カラオケボランティアでは、主にナツメロを歌っています。その時代、あの時あった事をきっと思い出して、口ずさんでいらっしゃると思います。歌は楽しいものです。



●ダンスボランティア ベリーズ●

佐々木 小百合 様



この度は、30周年をお迎えされました事、誠にありがとうございます。ますますのご繁栄を祈念しております。私たちは40代女性5人組のいつも笑いの絶えない明るい仲間です。芳梅園さんへは3年程前からお邪魔させていただいており、内容としましてはダンス、音楽、体操、ハンドマッサージ、ミュージカル!?など、毎回趣向を凝らした豊富な内容で利用者さんの笑顔を誘っております。芳梅園さんへ何うと「また来てくれてありがとう」など温かいお言葉をいただき、こちらの方がいつも励まされます。これからもよろしくお願い致します。

●朗読サークル「こだま」●

池田 加津子 様

芳梅会設立30周年おめでとうございます。入居されている方々、そして職員の皆さんの笑顔と「また来てね～」の言葉に元気をいただき、毎月一回お訪ねして二十数年になります。紙芝居や絵本を読んだり、皆さんと一緒にキーボードにあわせて歌を歌ったり、体操したり、楽しませて頂いております。これからもよろしくお願い致します。



●手芸ボランティアのぞみ●

松田 チトセ 様

月2回、入所されている方に指先を使ってリハビリを兼ねた、簡単にできる小物作りの手芸の指導をしています。時には話し相手になったり、歌を歌ったりもしています。出来上がった時の笑顔に励まされて、次もあの笑顔をもういちど見せていただこうと思い、元気を会員一同いただいで喜んでいきます。

これからもよろしくお願いします。



●傾聴ボランティアうさぎ●

沢村 勝義 様

芳梅園設立30周年を迎えられて、誠におめでとうございます。傾聴ボランティアうさぎはデイサービスを平成26年3月から、特養は平成27年4月から訪問させて頂いています。利用者様の涙ながらの苦勞話を聞かせて頂いたり、「ここで良くして頂いて幸せです」と話されたり、「また来て下さい」と言って下さったりで、利用者様の笑顔で元気をいただいています。利用者様の気持ちに寄り添いながら話を聞かせて頂きたいです。



●同舟会●

福嶋 鈴子 様

年一回、手作りのおやつ、以前はプリン、今はようかん(水羊羹)を提供させて頂いています。

利用者様から美味しい声を耳にしますと、ほっとした気持ちになり、ボランティア参加者で目を合わせて喜びを感じ、これからも利用者様のお口に合うようなおやつが提供できるよう、努力していきたいです。

●書道(習字ボランティア)●

永澤 恭 様

ありがとう この言葉は、心の扉を開く明るい言葉ですね。芳梅園に数年前から訪れてきていますのに、御会いするごとに習字をすました時、ありがとうございましたと言われる時、本当に御会いできるこの時間、楽しい気持ちが生まれてくるので驚いています。何を目的に書いているのか分からないのに、笑顔で楽しい、そんな時間を大切に守って、このボランティアを続けたいと思います。



●ヘアーステーショングループ●

細川 稔 様

20年以上、芳梅園様とは御縁があり、入所者様の方々の髪の毛を数多くカットさせて頂いています。免許を取ったばかりの弊社のスタッフ達にとっては貴重な体験として、また卒業した者も、芳梅園様のボランティアはとても大事なものを教えてもらったと今でも語り継がれています。

今後も末永くお役に立てるよう、精進してまいります。



●木津川市建設業協会●

藤原 正秀 様

木津川市建設業協会は社会福祉活動として毎年12月23日に餅つき慰問を行っています。例年10人程度の協会員が餅をつき、職員のかたがたや利用者様の掛け声のもと大変な盛り上がりを見せています。協会員も利用者の皆様から沢山の元気をいただいていますので、これからも継続して行っていけることを希望しております。



●まゆの会●

駒 美紀子 様

毎月、第三金曜日に木津老人福祉センター調理室でお菓子を作り、翌日の午後、訪問喫茶サービスを行っています。設立当初（25年前？）は少し固めの物や、見た目も美味しそうなお菓子を考えていたように思いますが、最近では口当たりが良く、飲み込みやすい物や口に運びやすいお菓子をとって作らせて貰っています。当日の訪問喫茶で美味しそうに食べて下さっていたり、「ありがとう」と声を掛けて下さる利用者様もいて、やりがいを感じています。月一回の訪問喫茶ではありますが、十数名で力を合わせ、自分たちも活動を楽しみながら続けていけたらと思っています。



●白ゆり会●

岡田 隆子 様

〇年一回：手作り雑巾等の進呈12月

〈贈呈先〉木津芳梅園（雑巾50枚、おしぼり20枚、ウエス1箱）他、市内4事業所

●月一回：シーツ交換（芳梅園）毎月第一土曜日

●年三回：お買いものツアー協力（5月、7月、10月）

雑巾進呈も今年で20回目になります。ボランティア活動も無理のない様に協力し合って頑張っています。皆様の「ありがとう」の言葉や「笑顔」を頂き元気が出ます。



●鹿背山婦人会●

三上 かず子 様

芳梅会が鹿背山に縁があって設立された頃から、夏の盆踊りに地元の婦人会として参加させて頂いています。当初は婦人会の役員が参加しておりましたが毎年顔ぶれが変わる事もあり、又踊りの苦手な役員がいたりしましたので「民謡クラブ」を立ち上げ、毎年同じメンバーで盆踊りに参加させて頂いております。入居者の方が同じハッピーを着て楽しそうに手拍子をとったり、職員さんに手をとって頂きながら踊りの輪の中へと参加される姿は微笑ましくもあり、我々も元気をいただいております。25年間我々も年を重ねてきましたが、入居者の方々に負けないように頑張って参加させていただきたいと思っています。

●手芸クラブすみれ●

阿部 廣子 様

芳梅会で編み物・小物作りのボランティアをさせて頂いて4～5年になろうかと思います。1時間30分程度の短い時間ですが、皆様昔を思い出し懐かしく、又楽しく、笑顔で時間の過ぎるのも忘れる

ほど一生懸命です。もう終わりですか？次の日を楽しみに、またね、と言ってお別れします。出来上がった作品は持って帰って頂いております。ご家族の方に、よくできたねと褒めて頂いたというお声も…



●朗読『いずみ』●

中岡 恵子 様

30周年おめでとうございます。私達、朗読『いずみ』は昨年初めて芳梅園さんへ伺いました。最初はお互いの緊張感もありましたが、歌と一緒に歌いだしてからは、緊張も解け、マイクを向けると笑顔



で歌って下さいました。皆さんとても楽しそうで、歌う事が大好きなんだと感じました。その後は、桂米朝上方落語「じごくのそうべえ」の朗読を聞いて頂きました。20分の長編ですが、最後まで話に聞き入って下さったことに感動いたしました。大きな拍手を頂き、帰り際には「また来てね」の声に大変うれしく、次への励みとなりました。

次回お会いするのを楽しみに、練習を重ねています。

●木津川市社会福祉協議会鹿背山支部●

絹谷 喜代美 様

活動内容

- ・鹿背山地域の福祉委員による、入所者の方との交流
- ・施設へのタオル贈呈
- ・おばはん劇団公演（地域福祉委員による劇団結成）

始めは緊張されているようですが、すぐに打ち解けて下さいます。みなさんの笑顔が嬉しくて、私達の活動も次回に繋がっていきます。



○出張散髪せんば○

稲美 孝介 様

30周年おめでとうございます。僕が芳梅園に来させて頂いて5年になります。利用者さんからは散髪時に「ここは職員さんが明るいし、よくしてもらってる。いいところだ」という話をよくお聞きします。僕も職員の皆さんがアットホームで毎月散髪に来ることが楽しみな場所です。利用者さんと職員さんの垣根がない温かみのある芳梅園のファンです。

「芳梅園の散髪はきれいにしてもらえるし、楽しかった」と良い一日を過ごしてもらえるように頑張っていきたいと思います。



特養 季節の行事



4月 お花見レク

毎年、木津のふれあい広場や笠置の桜を 3 班に分かれて見に行きます。お昼ご飯はお寿司やうどん・丼等を食べに行きます。利用者様と職員でワイワイしながら食べるので、毎年楽しい行事です。

8月 盆踊り

ボランティアの方に来て頂き、やぐらを囲みながら江州音頭を踊ります。最近は夜店もあり、より一層、夏祭りの雰囲気が出てきました。利用者様も音頭に合わせてたくさん踊ってくださいます。

10月 運動会

赤、白に分かれて、玉入れ・綱引き・パン食い等に参加して頂きます。毎年、白熱のバトルが繰り広げられ、盛りあがる行事です。



12月 クリスマス会

職員がサンタやトナカイ・ツリーの格好をし、利用者様にプレゼントを届けたり、皆でご飯やケーキを食べたりと、楽しく笑顔いっぱい行事です。



他にも、正月・節分・ひな祭りといった季節の行事があります。

また、毎月、誕生月の利用者様だけでお誕生日レクも行っており、ケーキを食べたり、たこ焼きやお好み焼きを召し上がって頂く月もあります。そして、外出レク・料理レク・園芸レク等もあり、皆様積極的に参加して下さいます。

これからも、皆様に楽しく過ごして頂けるよう、色々な行事やレクリエーションを考えていきたいと思っています。

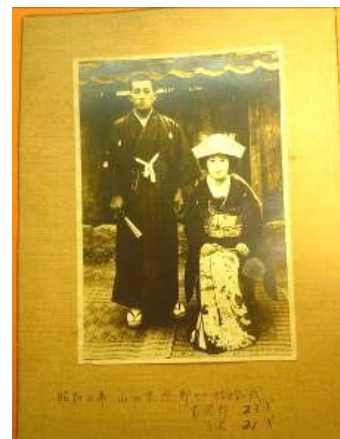
特集

京都府木津川市内最高齢者 山口 りよ様

～ 2017年1月8日に108歳を迎えられました！ ～

【 山口 りよ様の生い立ち 】

明治42年1月8日 京都府木津川市相楽東吐師 富井家の次女としてご誕生
 大正10年 相楽尋常小学校ご卒業
 昭和4年 21歳でご結婚
 昭和5年 長女様ご誕生
 昭和8年 次女様ご誕生
 昭和12年 長男様ご誕生
 昭和15年 次男様ご誕生
 昭和20年 三男様ご誕生
 昭和23年 夫、末次郎様 享年42歳で死去
 昭和30年～35年 自宅隣りの小林織物工場で
 パート勤務にて生計を立てられる
 平成19年 老人保健施設に入所される
 平成20年 特別養護老人ホーム木津芳梅園に入所される
 100歳を迎えられ、内閣総理大臣・京都府知事・木津川市長より表彰される
 平成25年 木津川市市内最高齢（105歳）として河井木津川市長より表彰される
 平成29年 1月8日 108歳を迎えられる



●●● ご家族様よりメッセージ ●●●

母を一言で表現するなら、“**気丈な母**”といえるでしょう。21歳で山口家に嫁ぎ、5人の子宝に恵まれるも、昭和23年2月、戦後間もなく40歳の若さで父・末次郎と死別。（心臓弁膜症と高熱と肺炎を合併、ペニシリンが手に入らない時代であり、1週間余りの患いで死亡）

父の死後、5人の子供を育て上げた苦労は想像を絶します。姉2人の家計の支え、そして実家、富井家の叔父の恩恵も受け、現在あることを感謝しています。そんな母も95歳を過ぎた頃より、認知症が出始め、平成19年当時開所の老人保健施設でお世話になり、20年に「木津芳梅園」のご好意で転所、献身的なお世話で8年間過ごさせて頂いております。子供5人に恵まれたお陰で、現在孫10人、曾孫14人、玄孫3人と命の灯を紡いでくれております。往時、当然のことながら、大分記憶は薄れてきましたが、年相応以上の健康に恵まれ、いつまで元気でいてくれるのか楽しみにしています。

（長男 裕通様より）



※広報誌第41号（平成29年2月発行）より転載しています。



矢尾 たま 様

大正9年8月5日生まれ 97歳

特集



～ご家族様より～

大正9年8月5日に福井県足羽群瀬ヶ口の村で、三男三女の姉妹の三女として生まれました。冬は雪国で、貧しい山奥の農家で家族が食べていくのが精一杯の時代。学校卒業後、家計を助ける為に福井市内の羽二重で有名な織物工場で働き、娘時代を過ごしました。親から離れ、幼くして大変な苦労をしたそうです。

そして戦争が始まり、戦時中、縁がありお見合い結婚をして大阪で所帯を持ちました。しかし幸せどころか、家を空襲で焼かれ、その中を生き抜いてきました。戦後に子供に恵まれ、一男二女を授かりました。やっと幸せになったと思ったのも束の間、突然の事故で夫を亡くし、長女5歳、次女3歳、長男生後4ヶ月の幼い子を残され、そこからの苦労は言葉では言い表せない位だったそうです。昼間は工場、夜は内職と眠る間もないくらい働き、持病の喘息を持ちながら、子どもたちの成長を楽しみに、女手一つで育てあげました。それでも、いつも笑顔で明るい母で、家の中はいつも誰かが遊びに来ていたので、私達子供は寂しい思いはしませんでした。強い母です。

余生は、好きな旅行を楽しみ、いい思い出作りをしました。苦労の連続で足を悪くしましたが、何でも食べれるので幸せです。長生きして、これからも楽しく過ごして欲しいです。



娘 田中美知子

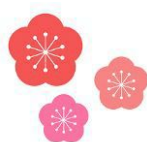
～介護員より～

当園ショートステイのご利用を経て、平成23年に特養へ入所されました。

行事やレクに参加されるだけでなく、食事の時に使うおしぼりを巻く作業も、率先して毎日手伝って下さいます。一方で、居室でアルバムを見返したり、廊下の飾りを見て園内を散歩されたり、窓辺で日向ぼっこされたりと、自由に思うように生活されています。

これからもお元気でお過ごし下さい。





大槻 恵美子様

特集

【大正13年 4月17日生まれ 93歳】

【生い立ち】

大正13年4月17日 京都府福知山市にて御生誕。

3人の子供（長女、長男、次男）を授かる。

昭和37年 木津川市へ引っ越される。その後は知人の紹介で小林織物工場にて生計を立てる。

そして小林織物工場を退職後も73歳頃まで様々な仕事に就かれる。

平成23年9月4日 特別養護老人ホーム木津芳梅園へ入所となる。



【介護員より】

御自身で歩いておられた頃は廊下を散歩されたり、御自身の居室で衣類等身の回りの整理をして自由に過ごされていました。またレクリエーションにも参加され、とても楽しまれ笑顔も見られています。現在は車椅子での生活ですが、お変わりなく元気に過ごされ、洗い物や洗濯物を畳む等、職員のお手伝いもして下さっています。これからもお変わりなく、いつまでも元気にお過ごし下さい。

川崎 清様

特集

昭和6年11月27日 85歳

“家族様よりメッセージ”

昭和6年11月27日5男2女の長男として、京都府笠置町で生まれ、現在85歳になります。木津高等学校卒業後、旧国鉄に就職し、6年後に高等学校時代に知り合いであつた亡き母と結婚し、2人の子供に恵まれました。

国鉄では、天王寺電力区で電気技術職の助役として、王寺駅など各駅の配線に携わってきました。また、趣味の書道を活かして、多くの作品において優秀な成績を収めました。

定年を待たずして、かつての上司に誘われ、梅田阪急ビル内にある会社で瀬戸大橋の高圧線業務などに携わりました。

現在は入所も長い方になり、カラオケとおしゃべりで日々、楽しく過ごしています。



〇〇介護員よりメッセージ〇〇

いつもいつも介護員に温かいお言葉をかけてくださり、気遣ってくださる川崎様。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

たくさんのお話を聞かせて下さり、川崎様とお話を介護員一同いつも楽しみにしています。カラオケクラブや数々の行事にも必ず参加して下さいます。たくさん楽しい思い出を一緒に作りながら、これからもいつまでもお元気でお過ごしくださいね。



特集

石垣弘志様

昭和9年6月26日生まれ 83歳

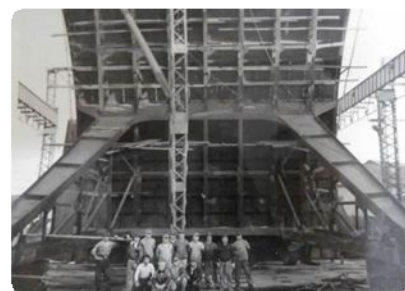
☆家族様よりコメント☆

父、浅次郎 母、あい

昭和9年6月26日、自宅で産婆さんにより取り上げてもらい、6人兄妹の末っ子で生まれとても大切に育てられたそうです。

木津小学校、木津中学校を卒業後すぐ、大阪久保田鉄工に入社しました。昭和36年、27歳の時、母と見合いをしてその一年後、春日大社で結婚式を挙げました。37年11月長女を授かり、39年5月次女を授かりました。43歳になる頃には、二人の子供たちが嫁ぎ、夫婦二人の穏やかな生活となりました。平成3年、次女と孫の四人生活が始まり、孫に対し、時には父の様に厳しく、時には祖父の様に優しく過ごしていました。

平成19年70歳のころ、妻の心筋梗塞発症で入院生活が始まると共に、認知症を発症し今まで病気知らずが、病気がちになり沢山の病院と施設でお世話になる事が増えました。やっと平成24年80歳、芳梅園に入居が決まり一安心していた矢先、肺炎になり胃瘻生活が始まり、口から食べる楽しみがなくなってから3年後、口から食べれるようにまで回復し、胃瘻も取れて今では、食べる喜びを感じながら完全介護でお世話になっております。



※石垣様は本誌編集集中に、ご逝去されましたがご家族様のご了承を得て掲載させていただきました。



木津芳梅園 デイサービス



昭和62年10月に開設し、デイサービスは定員15名でスタートしました。現在ではご利用人数も増え、定員35名と規模を拡大しサービスを提供しています。

デイでの昔の友人や、新しい友人との出逢いの中で、今までの生活を続け少しでも楽しく過ごして頂き「ここに来て良かった」「またここに来たい」と思ってもらえるように、沢山の笑顔を引き出せるように職員一同心を込めてケアさせて頂きたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

スタッフ一同



笑顔と元気が溢れるリハビリで、皆様の想いに寄り添います

いそしみし
しるしは見えて
うれしくも
我が芳梅園は三十年
まだまだ続く愛と和の
みんな仲良く
百までも
福島ヨシ子

利用者様がお祝いにと
短歌を詠んで下さいました



- ・地域包括支援センター
- ・居宅介護支援事業所
- ・訪問介護事業所

あすてる

地域包括支援センター・居宅介護事業所



私達、ケアマネジャーは平成5年に在宅介護支援センター木津芳梅園としてスタートし、介護保険制度が始まった平成12年4月より現在の居宅介護支援センターとして活動を開始しています。

当初は人員的にも少人数のケアマネジャーで居宅支援をしておりましたが、地域ニーズの拡大とともに現在では8人体制で支援にあたっており、利用者様に沢山の事を教えて頂きながら、ケアマネジャーも日々成長し、人員体制、ケアマネジメントの質ともに地域に誇れる居宅介護支援事業所になれたのではと考えております。

平成28年4月から木津川市より地域包括支援センター木津東を委託され、事業を開始。在宅支援事業の拡大とともに幾度も転居を重ね、現在では木津川市役所北側、徒歩1分の場所に事務所を構え「あすてる」という事務所の愛称とともに地域支援を充実させるという目標を掲げ、新たなスタートを切っています。今後とも「あすてる」の活躍を応援して頂ければと思います。



訪問介護事業所

私たち訪問介護は、平成4年4月にスタートしました。現在はスタッフ10名と少人数ですが、だからこそできるチームワークの良い、温かいケアを心がけています。

利用者様が住み慣れた家で、いつまでも安心して在宅生活を送って頂けるように、日々援助活動を行っています。

これからも宜しく願い致します。





ファイン桜が丘

平成 28 年5月に開設し、現在 70 名ほどのご利用者に利用していただいております。与えられるプログラムではなくご利用者様が手芸や麻雀、カラオケ、料理など自分で過ごし方を見つけるというコンセプトのもと、毎日を過ごしていただいております。また夏祭りやクリスマス、季節に応じた行事も充実しており好評を得ております。今後もご利用者様が通所することが「楽しみ」と言って下さる施設作りに努めていきたいと思ひます。

ファイン訪問看護ステーション

ご病気を持たれながら自宅で生活を送られている方に日々医療的専門知識を持った看護師が訪問し支援しております。ご利用者様の意思を尊重し、ご家族様とも連携を取りながら、誰もが安心して生活を送れるようにサポートを行っております。



ファイン・ステップ桜が丘

当施設初めてのリハビリに特化したデイサービスとして平成 28 年 5 月に開設し、現在 100 名を超える利用者様にご利用頂いております。午前・午後と入れ替え制で行っており、短時間で専門職によるリハビリ（運動）を実施しております。運動にだけ特化しているのではなく、空き時間や休憩時間等を利用し、歌やゲーム等も行っております。今後も、ご利用者様に楽しんで通所していただけるようにしていきたいと思っております。

ファインケアプランセンター

高齢者の在宅介護に関する相談をお受けする総合的な窓口です。平成 28 年 5 月に新規開設し、主に精華町、木津川市の介護を必要とする高齢者を支援しております。ご利用者様はもちろん、ご自宅で介護をされておられるご家族様の良き相談相手として長く在宅生活を継続できるよう支援を行っております。



■拠点・事業所



【法人本部】

【木津芳梅園】

特別養護老人ホーム 木津芳梅園・木津芳梅園診療所
指定短期入所生活介護事業所（ショートステイサービス）
指定通所介護事業所（木津芳梅園デイサービスセンター）
〒619-0211 京都府木津川市鹿背山東大池4-1
TEL：0774-72-8246 / FAX：0774-72-0153



【ファイン桜が丘】

ファイン桜が丘（通常型デイサービス）
ファイン・ステップ桜が丘（リハビリ特化型デイサービス）
ファイン訪問看護ステーション
ファインケアプランセンター（居宅介護支援事業所）
さくらホール（地域交流ホール）
〒619-0232 京都府相楽郡精華町桜が丘3丁目1番6
TEL：0774-75-1831 / FAX：0774-75-1855



【あすてる】

木津川市地域包括支援センター木津東(木津川市委託事業)
(福) 芳梅会指定居宅介護支援事業所（あすてるケアプランセンター）
(福) 芳梅会指定訪問介護事業所（あすてる訪問介護ステーション）
〒619-0214 京都府木津川市木津南垣外40-8
TEL：0774-72-7500 / FAX：0774-80-0514

ホームページURL

<http://www.houbaikai.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/kiduhoubaien>

E-mail

info@houbaikai.com



【法人本部アクセス】

■JR 木津駅より タクシーで5分

奈良交通バス（城山台5丁目バス停）

バス 8分 徒歩3分

■JR・近鉄奈良駅より 奈良交通バス

（JR・近鉄奈良→下梅谷バス停）

バス 15分 徒歩10分

■京奈和自動車道

木津ICより車で10分

【編集後記】

今回、本紙の発行に伴いご協力頂きましたボランティア様、ご家族様、関係各位の皆様に心からお礼申し上げます。この30周年記念号を通して、より多くの方に芳梅会を知って頂き、またより身近に感じて頂ければとの思いを込めて作成致しました。ご一読頂ければ幸いです。

平成29年11月1日発行

発行：社会福祉法人芳梅会 編集：広報委員会